

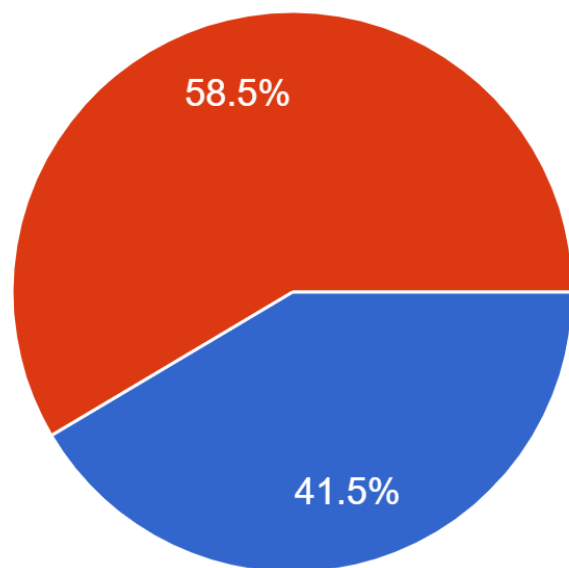
キャリアパスプラン

アンケート集計結果

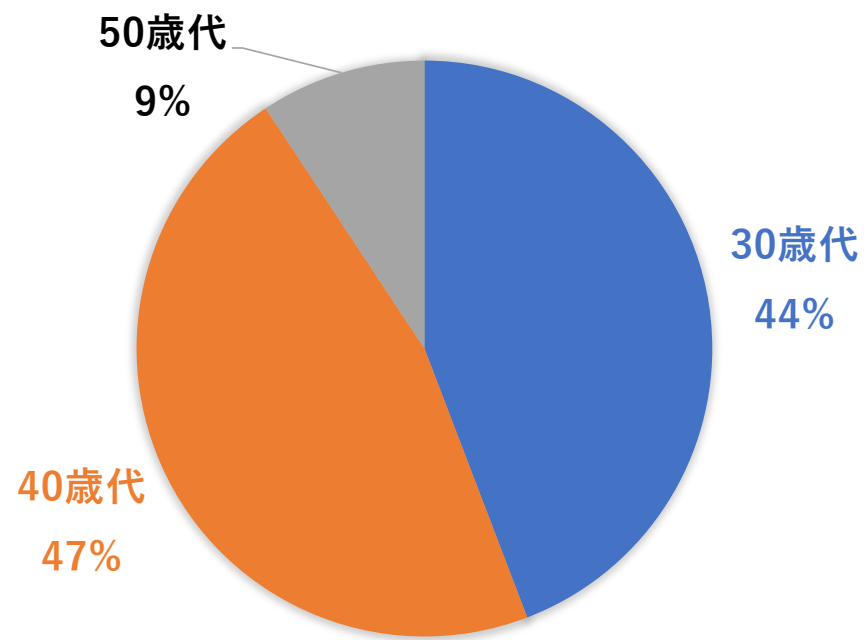
性別（任意）

41 件の回答

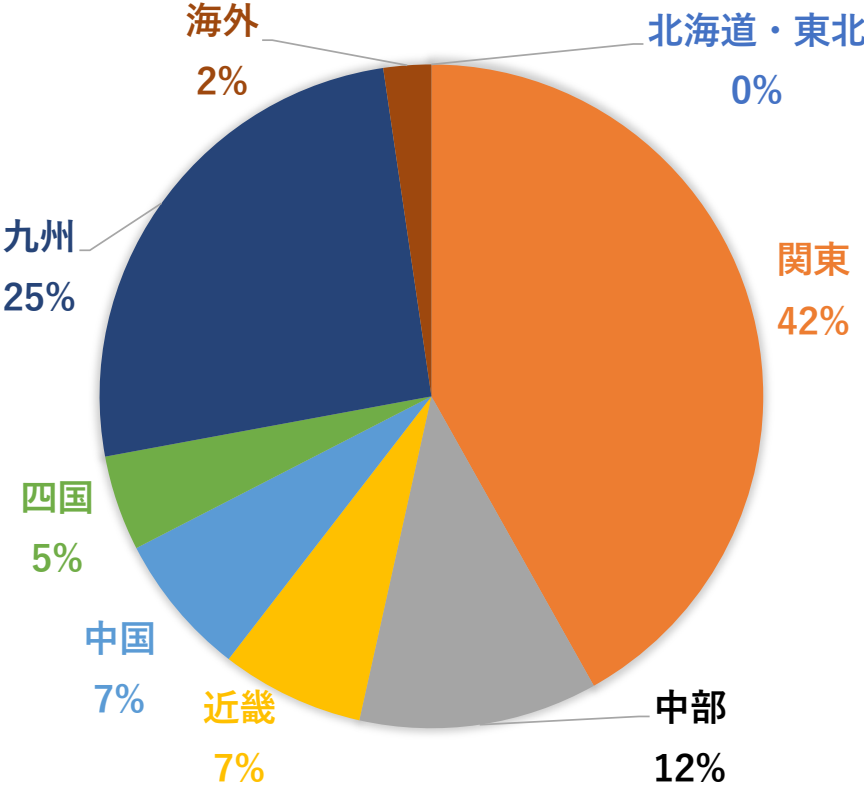
- 女性
- 男性



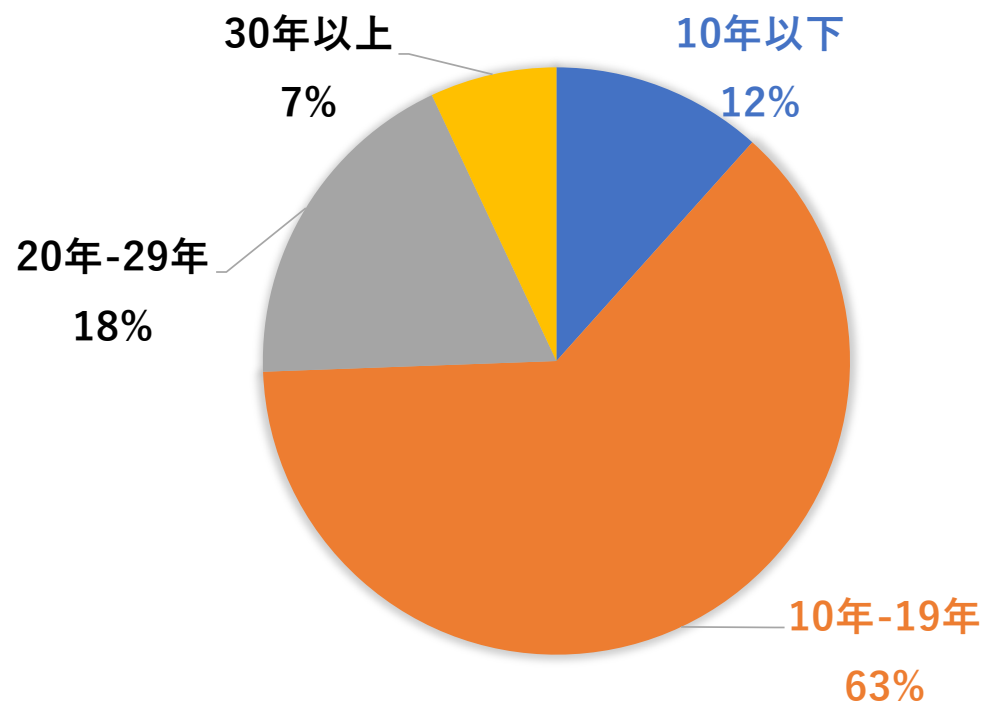
年齢



お住いの都道府県

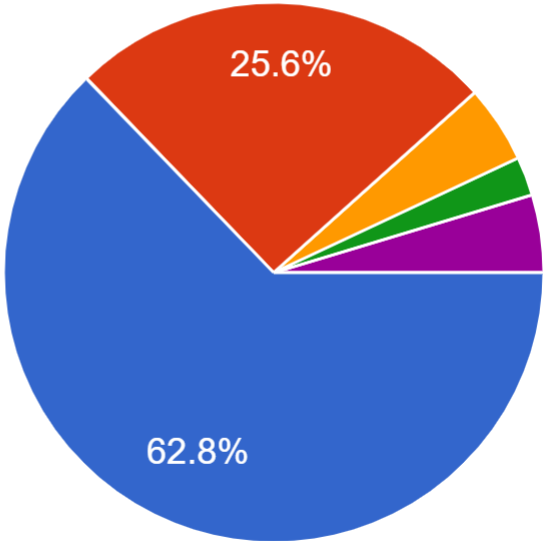


卒後年数



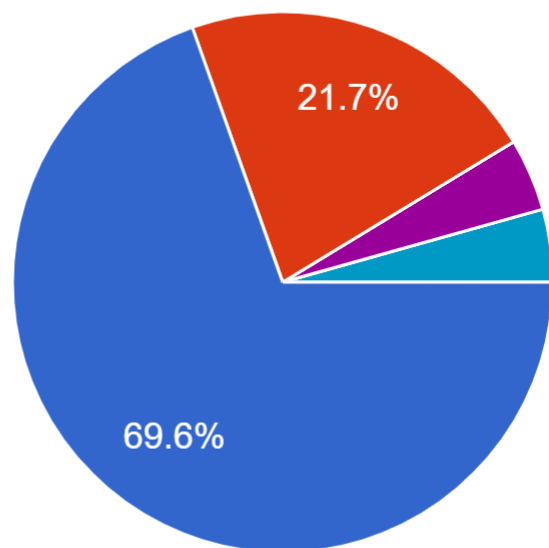
現在のご所属

43 件の回答



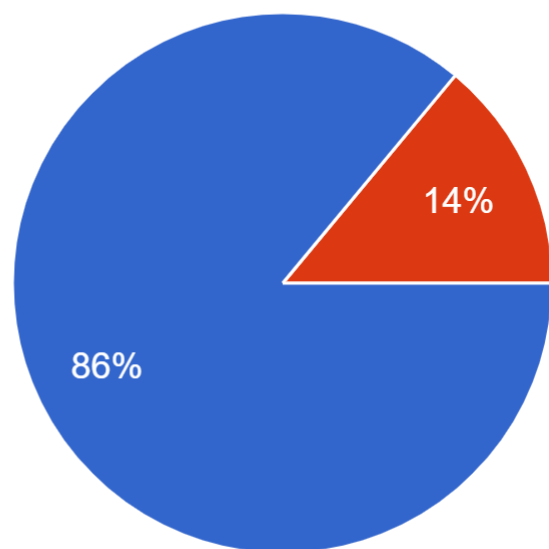
- 大学病院
- 一般病院
- クリニック
- 開業医
- 大学

診療科



- 腎臓内科
- 小児科
- 泌尿器科
- 腎臓外科
- 訪問診療
- 大学院および診療科は腎臓内科ですが、現在の主な所属は生化学教室です。

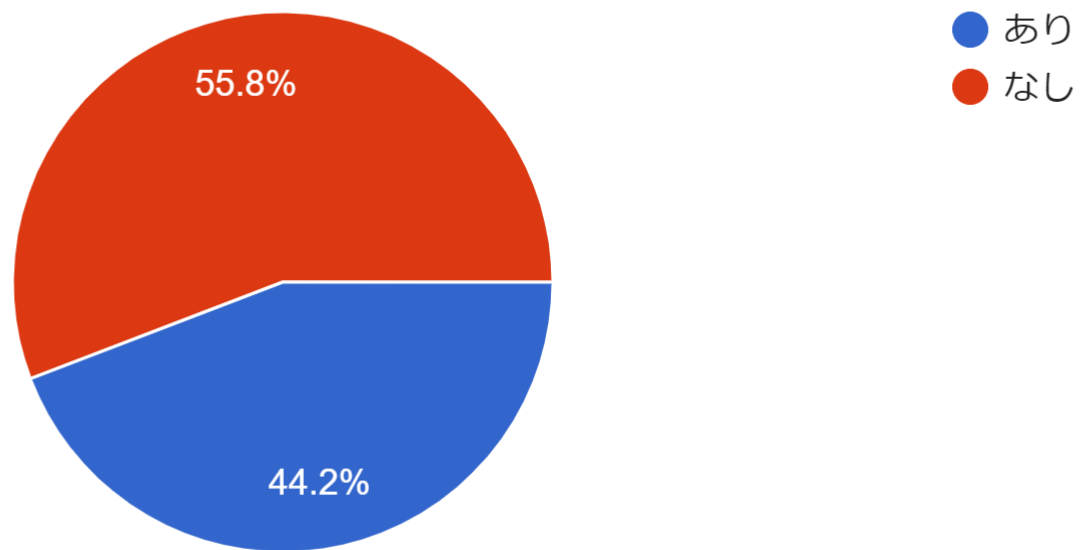
勤務形態
43 件の回答



- 常勤
- 非常勤

当直

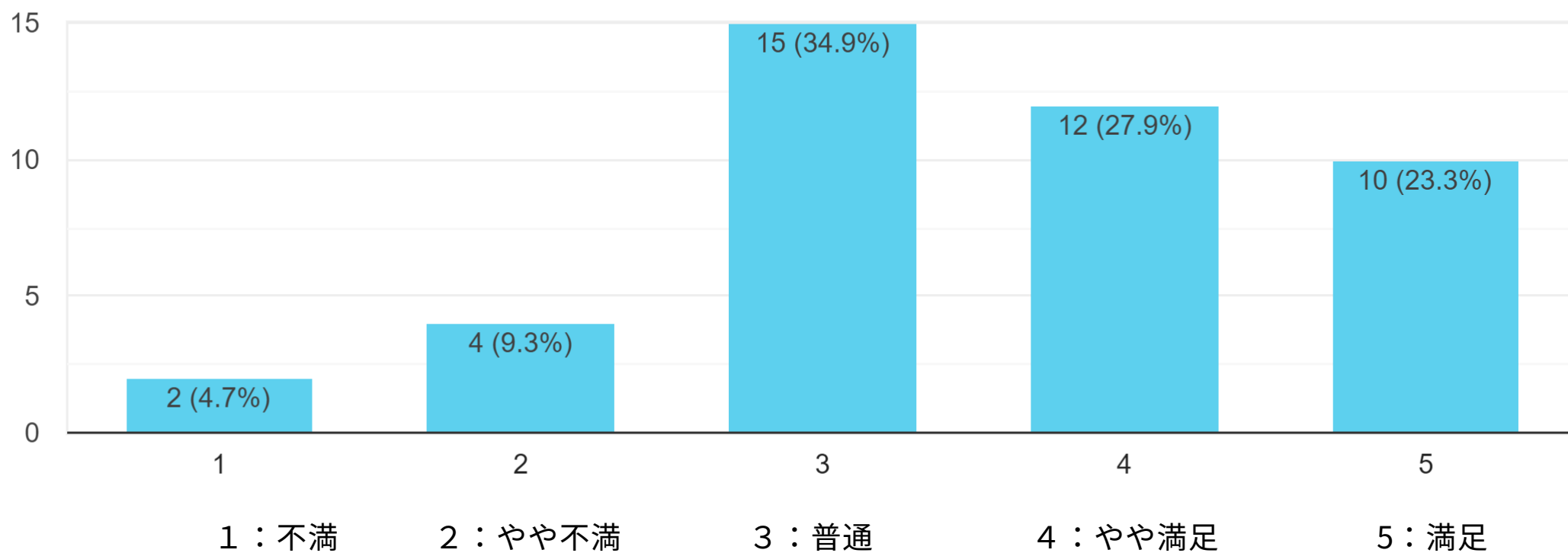
43 件の回答



満足度調査

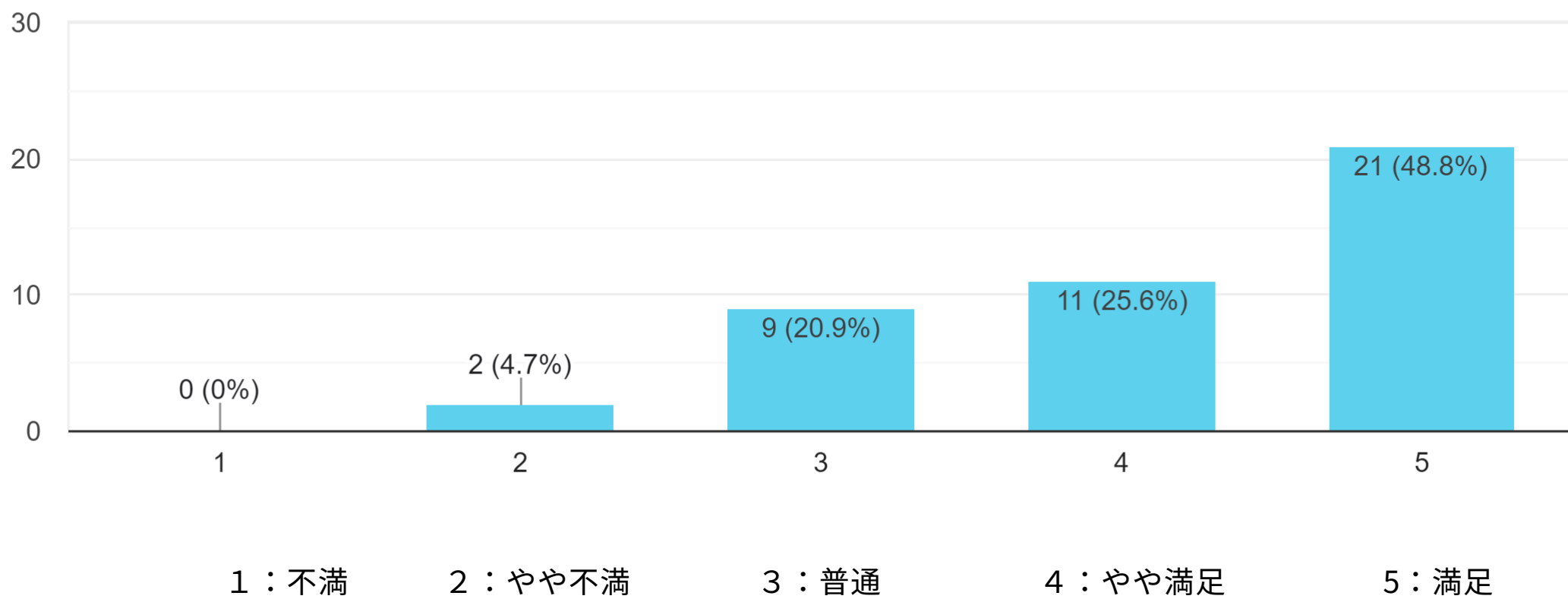
給与

43 件の回答



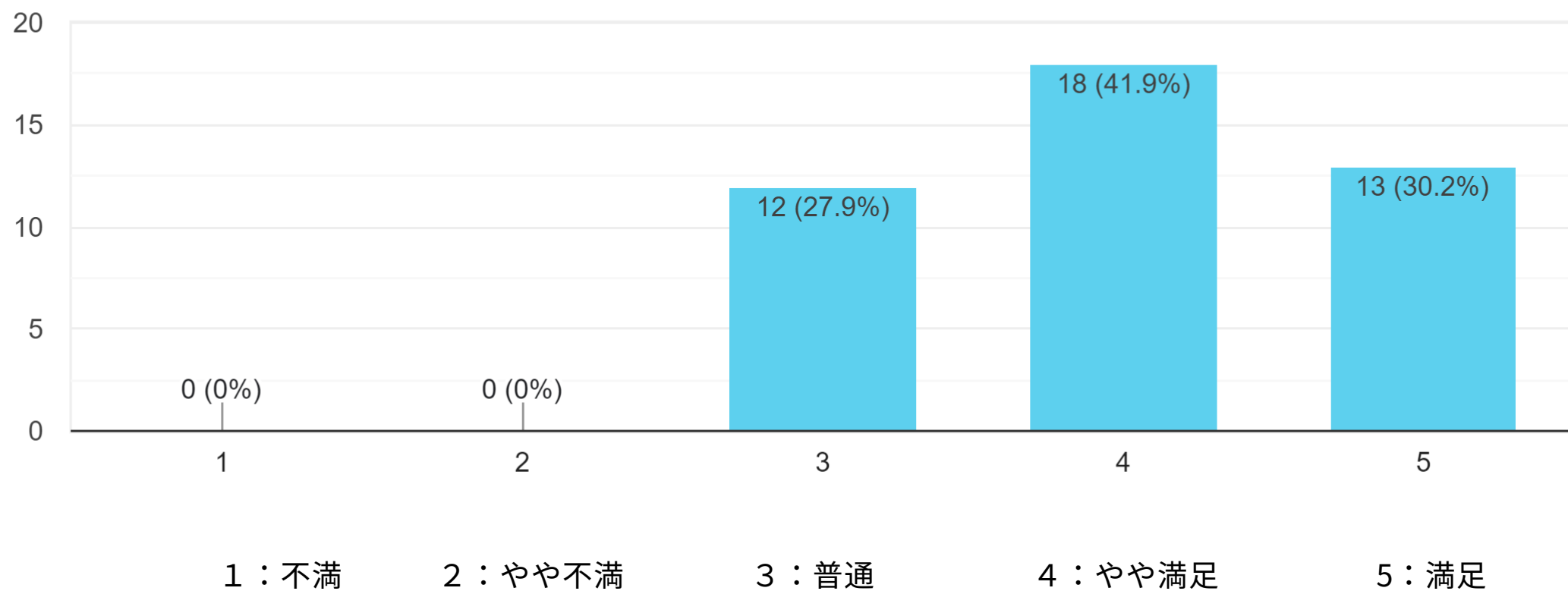
通勤時間

43 件の回答



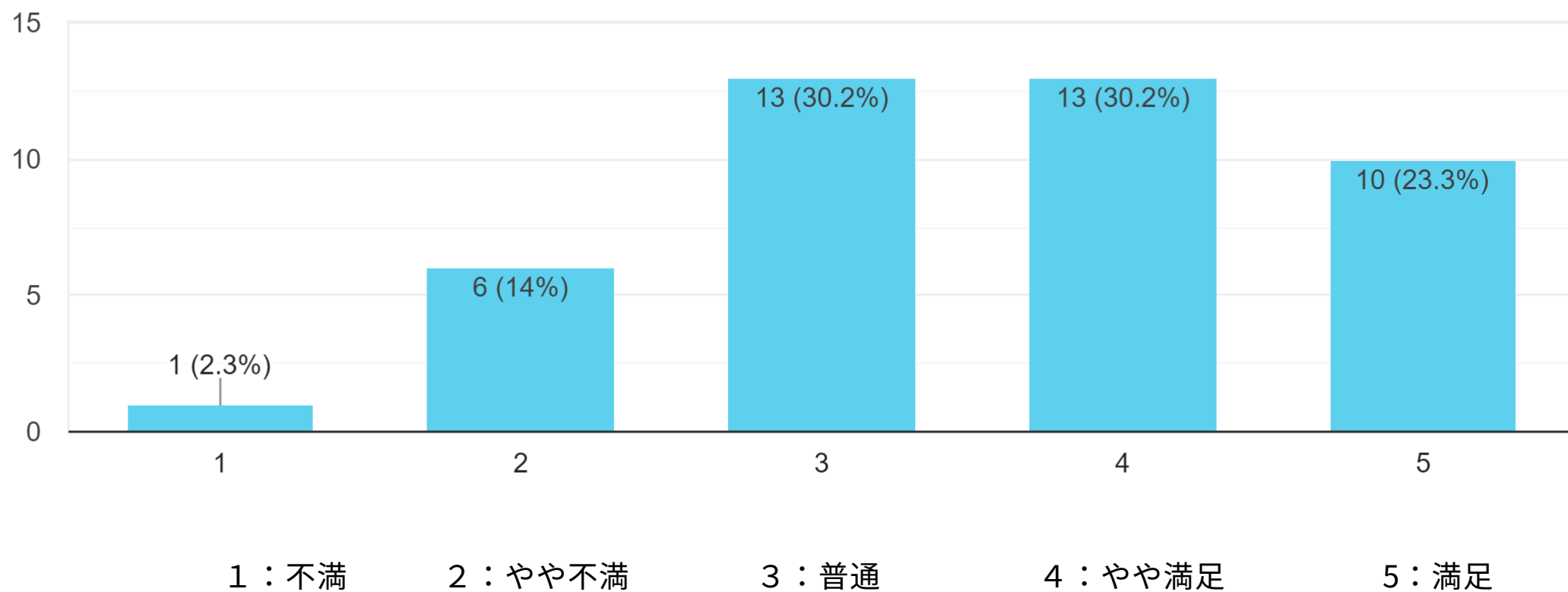
診療レベル

43件の回答

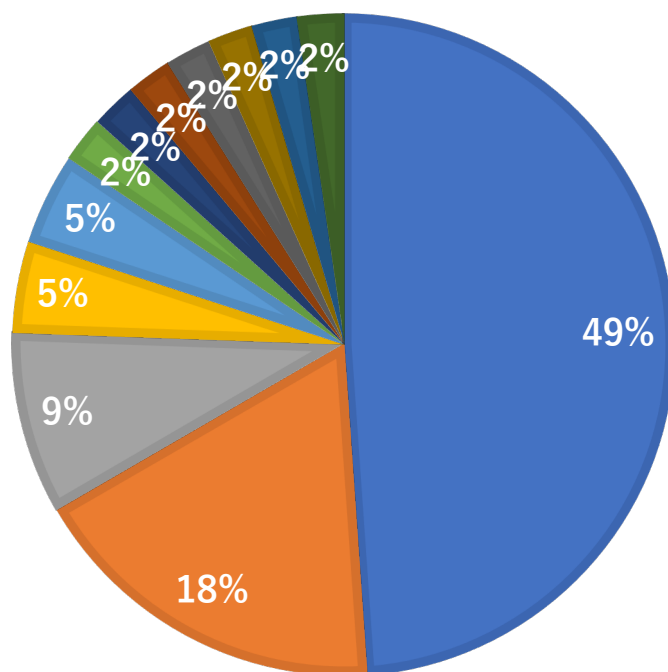


プライベートに割ける時間

43件の回答

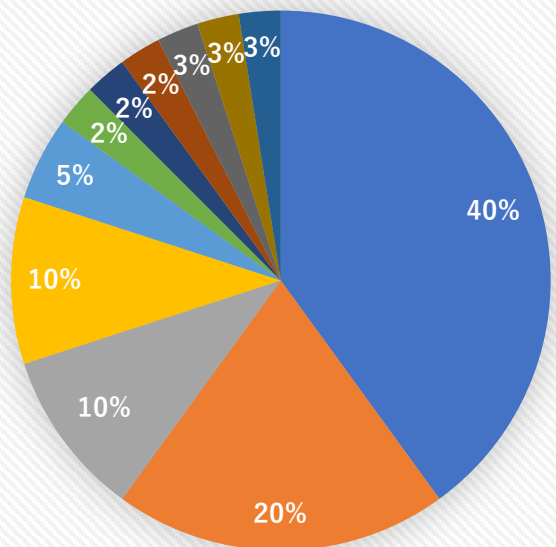


腎臓内科を選択した理由



- 全人的に治療に携わりたい
- 手技（シャント手術やPTA、腎生検）ができる
- 人工腎臓の管理ができる
- 長期間患者さんと関われる
- 研究が面白いため
- 臨床と研究のバランスがいい
- 指導医に勧められた
- ほどよい忙しさ
- 移植医療に関われる
- 透析を減らしたい
- 良い先輩がいたから
- 治す医療に限界を感じており、体をいたわる死に方を提供できる

腎臓内科を選択してよかった点



- 臨床も研究もできる
- QOLがよい（子育てとの両立、ライフワークバランス）
- 教育に携われる
- 研究に没頭できる
- 臨床が充実している
- 何のコンフリクトもなく、腎臓学会で活動が続けられる
- 臨床研究ができる
- 一般小児疾患と専門領域（腎臓）の両立ができる
- 手技が少ないため一度臨床を離れても戻りやすい
- 臨床・研究ともに未解決事項が非常に多く、新たな発見や知見にしばしば遭遇する
- 透析医療と手術を両立できる

医学生にひとこと

楽しいよ
社会的なニーズもあります。治療法も沢山できてます。急性期・慢性期・病理など興味に応じて活躍できる場（選択肢）が多くあります。
腎病理と、病態を学ぶ楽しさを知ってほしい
腎臓は非常に多機能で複雑で、興味深い臓器です。また、腎臓を通じて全身をみることができるため、内科医としてのやりがいも大きいです。研究も臨床も、いろんなキャリアがあるので自分にあったキャリア形成を実現できるのではないのでしょうか。
腎生検・シャント手術から腎移植まで幅広い専門診療とさらに広い周辺診療に関与でき、急性期から慢性期まで働き方に幅のある診療科です。
腎臓は再生しないので、基本的に長持ちさせるように総合力を要求される。すなわち健康長寿を患者と共に常に模索することである。内科開業医としてもっとも適している資質を鍛えることができる
腎臓内科は臨床、研究、社会活動、学会活動どれをとっても多様性、活動の幅が大きいので、選択後自分に合った分野を選択できます！
腎臓内科は面白いです
あらゆる病態を見るため、患者を包括的に診ることができるようになります

肝腎要というように腎臓は身体のととても大切な臓器です。色々なステージでの関わりがありそれぞれとてもやり甲斐を感じられます。是非その人に寄り添える医療のあり方を一緒に体現していきましょう。

腎臓内科は臨床研究教育とバランスが良い科です。他科の先生とのやりとりも多く色々な知識を得ることができます。

腎臓内科は腎臓のことだけでなく何でも見るできるようになります。また、総合医としてだけでなく専門性も深めることができるため色々なバリエーションに富んだキャリア選択ができます。是非腎臓内科医になり一緒に頑張りましょう。

腎臓内科は病気も人も診るやりがいのある科です。内科でありながら手術や手技も多く、一方でライフステージに応じて家庭をもち子育てをしながら、透析管理など診療に携わっていける科でもあります。どの科であっても医師という職業は素晴らしいとは思いますが、大変ながらもオールマイティな医師になれる腎臓内科をぜひ検討してみてください。

自分の人生のプランにあわせて仕事量を調節しやすいので、子育てや家族との時間を大事にしながら自分のキャリアも継続できる科だと思います。基礎研究を続けることも可能だし、腎不全の患者さんに寄り添いながら臨床を継続する道も選べます。ぜひ興味をもってのぞきにきてください。

患者さんの全身を診たいという方には良い科だと思います。

患者さんとの対話が好きなら腎臓内科はおすすめです。

腎臓内科の魅力は尽きません、若い皆様と一緒に仕事ができたらうれしいです

ハードな臨床も、非常勤のみでも、研究メインでも、行政でも、どの方向に進むにしてもメリットを感じやすい科だと思います。

腎臓は腎疾患だけにとどまらず様々な疾患と関連し、全身管理につながる大事な臓器です。全身を腎臓側から診てみませんか？若い先生方と働くことを楽しみにしています！

長く患者さんと付き合える診療科だと思います。若いころに分からなかった答えに出会えるのは大きな魅力です。

多様な働き方が選択でき、結婚・出産・子育てといったライフプランにあわせて働くことができると思います。それから何といても全身の体液管理、病理、移植など全人的に診療できるスキルを学べる科です。

腎臓内科の先生は、とても優しくて懐の深い方が多いと思います。華やかな診療科では無いように思われるかもしれませんが、常に陰ながら医療全体をサポートしているような領域だと思います。私は研究者ですが、ぜひ一緒に腎臓の領域について学んでまいりましょう！

深く考える楽しみのある分野です。

高齢化に伴い、慢性腎臓病は今後も増加すると予想されています。血液浄化、移植、腎生検、電解質など「動」と「静」の二つの側面があり、どの内科を選択しようか迷っている方にもお勧めです。是非腎臓内科を目指して、多くの方の腎臓をサポートしていきましょう。*追記ですが、「現在の職の満足度」の給与に関しては海外研究者という点で満足度が低いので、未回答でお願いできればと思います。宜しく願いいたします。（国内勤務とは扱いが異なるように思います）

透析患者は今後減ることはないと思われ、益々腎臓専門医の需要は高まると思います。腎臓は多臓器との関連も強く、非常に興味深く、長く学び続けられる領域だと思います。

自分の強みをもてば働きやすい環境を自分で選べるようになります。腎臓内科で学んだことは訪問診療でも活かされており、色々な働き方ができます。

腎臓領域はかなり幅広く(一般、透析、移植、シャントなどの外科)、つぶしがききやすい。また、診療していくうえで、いずれかの分野では皆さん興味ももてるのではないかと思います。

腎臓内科は尿異常・高血圧から患者さんが老いてなくなるまで、障害を通して患者さんを診れる、とてもやりがいがある診療科です。手術や検査などの手技も多く、関わる診療科の知識も勉強は必要ですが、総合診療的な側面もあり、働き方の振れ幅も大きいので、色々な専門の先生がいて面白い職場だと思います。是非とも一緒に働きましょう！

腎臓病学は比較的歴史が浅く、未解決事項もたくさんあります。一方で腎臓病患者さんは非常に多く増加傾向にあります。臨床と研究のどちらも非常にやりがいを実感しやすい分野だと思いますので、興味がある方は是非どうぞ。

病理学、生理学のスペシャリスト、透析患者の全身疾患を診るジェネラリスト、外科医並に手術するインターベンションネフロロジスト、移植内科医、など様々なキャリアを追求することができます。研究が面白い分野もたくさんあります。ワークライフバランスが比較的取りやすい科でもあります。

全身がみれて、生理学的な知識も身につけられます。理論立てて治療に臨むことが多くそのスタイルは研究にも役立つと考えます。もし迷ったら腎臓内科の門戸を叩いてください、損はさせない魅力があります。

腎臓内科は、腎生検から透析はもちろんのこと、その方が人生を終えられるまで付き合っていけるやりがいのある仕事だと思っています！

腎臓内科は急性期も慢性期も診られる幅広い診療科であり、そしてたくさんの尊敬する先生や、信頼できる後輩に恵まれています。多くの方に支えていただいて、今働けるとしています。

ライフイベントは男女問わず起こると思いますが、障害と思わず、自分がどう仕事と向き合いたいのかを考える良いきっかけになると思います。

自分の興味を追求できたり、持続可能な働き方をみんなで考えられる環境だと思います。ぜひ腎内の皆さんと一緒に考えてみましょう。

検尿異常から透析管理まで、患者さんの生涯の診療を責任を持ち継続する事が出来ます。